などガンジー動の断食に開碗し印

者が無條件棒放に関する英國

の印度政策が論難されてゐる

多要請じてあるが、印度民衆、駅は米型が現在の戦争を出來る限「ず、來るべき不格的攻撃に際して」國府の参照以來の概訂はすでに十二昇戦争の進行につき全面的協一大便は廿五日戦的者を秘表し、ソーリ派にすべきものであるのみなら「合計すると近に五萬一千を敷へ、英國政府が類りに印度に対し「非正元」

結成を要求した、配ちマイスキー

通じて米英に對し重ねて第二酸酸」ようと全く自由な立場にある。要

酸は瞬順者と俘虜の砂場で開落を

脱繁を終へ購選したが、同盤除報 【上海廿六日同盟】吉田支那方面

て協軸軍に側面攻撃を受ける

の七項目で、その他の提案事項中

の豫定 時 後部長) 東

集結し、いつ何處で攻略を開始し

なる販果をあげて大徹 た程学進攻作取は近大

差船舶への猛襲は選目にわたつ

吉田司令長官

三、新製品の政扱に関する件

の林、交通、財務、監査の六郎し

に謝北省に於て行法れ 六日歿表)蘇淮地區並

思はれる、わが歴職の衝域による

優するに従ってさらに増加すると

南京廿六日间盟】亥

ン殿政府は駐在大臣マイスキ

印度政盟としてはガンジー

敵の反攻、悉く失敗

チュニジャ戦線 樞軸軍振

烈かつ組織的であることを認め

【リスボン廿五日同盟】チュニジ

開始された 反脳臓患の 攻撃

をして、アーニム將軍艦下福祉 於いてアンダーソン麾下英第 肌に自己無蔑を試みたものだが

南京立六日间盟】支那派選軍は一にこれを援助促進するため、

新たなる性格のもとに急足し新情ーの軍特新機関の業務機構を翻整しま

特務機関の名前を運絡部に改

遭支軍 特務機關新發足

速があるが、要は一に中國側の自地域などの貨情に應じて多少の運

ての新設足の時機は都市や逃断な

する。従來の聯連絡官はこれを廃止

氏』の心をもつて心となし、その

歐洲で第二威線を結成することを

べきものあるを信じて疑はぬ

り継がに縁起せりめるために、西一要求し『ドイツは東部歌説に常て』て打ち破られた間ではない』と附断所で第二感識を認成されて」で打ち破られた間ではない』と附

日本に絕對有利

の局當軍獨

集が反脳・軸陣営に深刻な恐怖を除

州、鎭江、楊州方面に於 艦隊司令長官は二月三日 月廿六日十六時)吉田支

東部戰線、決定的轉換

目的達成に適進せんことを固く決

連絡部と改稱

機関の活動を側面的に援助せしむ

となり、右に関し廿六日左

印度防衛の力なー

開題 自らの無能を告白

決定的轉換が生じた、去る二月十

チュニジヤ戦線 チニ

を完全に確保してあることだけは

のみの職果を見れば質に三十パー

東京電話】内外地間の物間調整 | め當分滞京の第定である

內外地 物價調整懇談會開く

職する第十回内外地物質器歌

憲総で開催、劉治國工省物似局

院第一部第二旗長、小泉朝鮮物

的機能波距のため今回その機構を

【上海廿六日同盟】在 上海 大便

務所機構改革

海大使館事

欧革し四月一日より質施する、

房のほか総務、司政、經濟の三

大点 mg 域技師 及與小鹽里品報查

間、山崎内務次官挨拶の後、

大春 體季 完 工 戦

で地方から個験勢力を一類に

四つの飛線に分けて二十五日次四つの飛線に分けて二十五日次

意洲に主力を集結して、反攻の機 を狙つてゐるやうだが、日本軍の

部における最初の決戦は反階軸側

ある、

歌局の今後については

野草

十二日同盟】獨軍

も極めて有利になってゐる

え去り、チュニジャ中部および南

七十四萬八千百トンを眼次、腰り

上機によって戦化されてゐる、

半島側提案七件

腦驗問胎器計百卅隻七十九萬八千

一・モ長官

大東亞戦局

「医性動性

支那派遣軍當局談

際は日に〈異然の度を加

【東京電話】印度政策に関する英|一物並に國民會議派を希望する長

国職機関さへ一種に非難を浴びさ 政界に突然なる不満があり米國の

らの無路無能については英

股空備ご開する

取項の

運絡開査

しては萬遺憾なきを期してゐる次

世間周知の近く平南道は高句麗一道共にその現状に於いては上述せ まつ最初に平南、黄海阴道巡勘 軍根以下嫡激なる思想の把持者を

も輸出せしめた地域であるが、例 黄海道にあつては過去に於いて安

自都の所在地であり、平紫

るが如き過去の習俗は大體に於い

則に基づき、これら兩道大衆に勤 はまた味方として有能なりとの原 である。由來做として限力なる者 邸め得たことは疑る欣決とする感

首相に満酒下賜

いては一戸書り平均二町五欧歩、

黄海道は一戸當り平均二町

人人第八十一条國際商財金につき御慰納「東京電話」思言違りでは廿六日 第八十一条國際無財會につき御剧

百聞一見に如かず 施策、愈々具體化

が民宗政を終へて廣城したが、軍中随行の記者國に対し次の如い後部では古六日午後三時半京城闘者別車で平南、英海関道の の野家を初め前途益々信望な鑑工業の進展、半島農家の燃料、 刺道巡視の配想を殴つた、即ち兩道民衆の民情をはじめ漸く として起ち上ろんとしつゝあ

記科及び家屋の横沿問題、更に産業發展の基礎たる港麓並に関

数すれば反抗の緊要を衝し、また | 要を自慢しその名目に限する職態 | 國民たらしめ得ることは疑ひの餘

震動電の五演目にわたつて取り問題なる 破滅と 地地や吐着した他の一点、悪化今回の際軍職等とはて発館の初度態度を発了したので 中間誘連の立場から暴命に認恵を取ったもので今後に於ける小震が自然のない。

地がない る四葉生産道として食風対策上寄 **兩道のうち就中資海道は有名な** 農業について

- 爾に對して慰蚊を有じ、一をび」上に暴國問題として鄭が総集のは「暴哉時敵仏と相俟って夢し意能な「耕地回費を破跡するに平門道に於「罷むることを得るたらう。(特見滋飲、後殿なれども由來聞)で「罪せられ,辟風影画の基闕の「する道郷蔵」きを得るに於いては「典すること大である,而してその」の勢力の諮詢をる複能表

た延白郡南大池の如きは即ち官蔵

あると同時に農民の動物技

最近各方面の自帰に伴ひ逐次

器に背かざらんことを明したい、 を自覺する 將來益々落備に努め設食朝鮮の名 る現状もまたこれを質証してゐる なほ水利事業の凝棄増産に有利 投弧及び機械力の改善適用によ 原知の孫實にして、

のと認める、たい歴民の慶気技術

達を見ず、從つて

非さるも、その他の重要競物、 、は微鑑石、タングステン、競 R道のうら金山整備方針に基づ はたいに東工品材料をるのみなら

と相俟つて、將來の進展正に刮目

観工業に伴ふ労務に関しては、

特に畑地面積の多き房道に於い一海州附近を中心とする工業の發展一

を原用しつくある者が未だその

し天下の侵観である、何となれ までもない、 港飲及び鉄道施設の産業振興に

【サイゴン特徴比六日盛】ドイツ 百二十隻を屠る

を併せ収め得る如く改善せしむる

れば、たどに増産の目的達成に

に見る良強無婚炭重地なることは 屋の構造について燃料、肥料及び家

今更簽宮を要せぬ、而して一面巖 焼の普及を更に希望すべきものあ

朝鮮年島大衆の動物度に開して

るの緊切なるを認むる、若しこの

殉潜水艦、通商破壊戦に活躍

果戦の月三

年三月一日以降廿五日までじ が、トランスオツニアン通信は本 と共に果然温飯を加へて死である

八千喃)で前年同月を通ど による分は百廿一隻(七十四段

鑛工業について

置の大なる職くべき將來性を有す

朝鮮競道本級中平地以北の復歌 円を以て初度巡説を完了するに 関で朝鮮着任以後路に今回の が

り一宮間草に感想を開陳すれば概

形たるに止らず、呼ろその音上数

に想到すればたどに襲南浦の補助一の関係により急速なる質別至原な

刊新社 水白

【釜山電話】 日間に亘り南 大化協會第二 聚麓院議員 夕釜山報急行

三年 紀 高 英子 まとして東亜共原圏南の第三日 を辞述し、曹の彫刻、種の部分

澤

正四郎著

有孔蟲の

研 究

從つて附方油田の調査開設に必要ひ之に常長た関係のあるもの

用 6 判 · 三四五頁 定頃 二

學問士拔山

平

便三·00外地送六○ 記に亘つて卓論を述 が記し三つて卓論を述

松督府辭令(廿吾付)

接師 岡田 仁弘 交茲

油脂化學及油球學發上野減一

誠

一著

照に適用し得べきこの方面の嵌き知敏を最も平明に脱いたものである。 應葉的利用増進に闘する事項を附随せしめ、従つて本邦内地及び用方共・ 勝仗土地収良開設を主目的とする慮認土术を中心とし、之に改良開設地

泰著

個型・OO外地表八〇

學 二 引 本 府 號 京 社 會 式 株 善 丸 憑 醬 五 京 居 支 市

田裕

静 功一

林利治(曾孫)道

下事の系統を學びたいものは領科へ

曹賀一ヶ月八 ○ 級

◎速成科……各員課修を希望へ

避豫成科

器四 1 1 0銭

【呈進本見】

◎本成科 光五圆形錢

北崎志賀都(<u>國</u>北) ◎ 本

年周一卅立創 **會學業工本日大** 臺灣學業 工本日大

受給がいますが、 長篇**大**は、 大の 主母に 作り できない。 では、 できない。 でもな、 でもな、 でもな、 でもな、 でもな、 でもな

全有骨突出し骨が曲り化腺する-・手足シピン節々がハン痛む-・手足不自由で歩行困難に惱む-・

現カキ 東 カキ東 かキスパ

炎スイ炎

で見り で見り

鬱鬱

S.

鰛機船巾着操業數

を駆けて軍艦増塵を内外に宣明し

百六十八統を内定

なるものであるところに改めて

際し我が國連を踏して獲得

官吏待遇改善策完備

共濟制度を擴充

順調に進捗中霊峰ダム工事

な今まで 本に登手したが、すでに順関に ・ 組合 水明固中と 変定 された巡開工 ・ の に で か に で で に 順関に 證券取引委員任命

く同委員会委員世二名、 る異質取引の方法その他日本證券 省では同日附をもつて次の如 六日官制公布をみたので、 新職する有質證券取引委員

内地機構を延長

半島の産業體制確立

委員會は來月早人第一回老

戦、運用の一貫生及び騒

名譽的待遇の敗酷の三方策と 近施をみたが、今回以に共

米、飛行機工業

1四〇多激數一六〇%、工場數七〇%理坪七五%、勞働力從議長數一三〇%女子從議員數二七五五%。

フェノスアイレス廿五日同盟 炭價の適正化緊急

松本石炭統制會長挨拶

▲問題は費材と努力であるが、

「昨年十月状定した石灰影像に基」

一で影がの協力適切

成する

來月中旬方策を決定 ならびに人的概成について具個家 的指訟がとられるものと見られて 就の開賽回復を待つて急速に具備

從つて今後親政督の欧組問題はこ こに種々の意見を継載または幹部

本社寄託献金

來月早々第一回委員會

れるためには先づ第一に産業再

統制品たる内地画版画の一元的移 通行するものとおもはれ今後の推 人口 割當配給

荷造包裝協會總會

から業務開始帝國銀行四月

一十七を取る

に数々の希求してやまぬのは、 この日ン関係をして暫定的なる ものから個人的なるものに飛り 【サイゴン特置世四日登】特別回 特別圓決濟 法打合纒る

(=)

協定と同様、前年永までに

說社

日ソ漁業暫定協定の成立

戦の大阪県と南方資源の確保が販事の巡街によって、たとび転

町ちりり開保の悪化を目

若し米処ソの関係に達に避び得

約が一ケ年更に匹長されたといればならぬが、ともかく現行係

業のもつ軍要意職は電末と

と強へる米英陣線の深き失

定の成立によって現實に否

然に加へたことになる。

せざる無営の機関しき米英順

の決勝法打合せのため原上中であ 理事會議 全國商工議

六の所日東京に於いて開かれるこ

とは誠に宴ばしい、共衆國籍國・事が出席するはず諸足するやうな點に安結したこ、杉山京鶴剛理事はじ変渉が臨か數日にして双方充分、杉山京鶴剛理事はじ変渉が臨か數日にして双方充分 蔣介石の軍事顧問 ウクライナ再建に積極的協力

ゆへ、その成立に向って 積極的

前赤軍のビ中將

半島の金屬回收

先づ企業整備が緊急

どから、いつか何なる事態だ

切体戦の観心に伴って紅白雨系

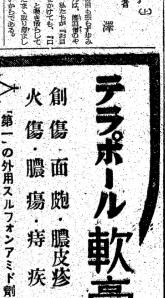
を見ても、無理な工作がしてあつ

主義國科學文學的

教材子を選組しますから連携なく御申込下







がかなる風 聯盟賞作品とその作者

前鮮輸出工藝協會

識けてある収さんは、修道僧の

服を聞いて、初めて

映畫の觀覽料

全鮮的に統制

歌馆世中常色

自潰して切開を待たず治癒せし、現は化膿部の制生を促進し、或は化膿部の側面を浮化して化膿を防ぎ、肉

直接作用せしむる新外用劑。

に對する弧き抗菌力を、息部に

むる等、効果頗る速やかなり。

第一製藥株式會社 ナニーブス ・五〇・八〇

●最高純度テラポールの、化膜菌

けよぞ呼ばん



九十名が得るに待つだけ七日の此。を書め女服を正して午前八時世分九十名が得るに待つだけ七日の此。を書め女服を正して午前八時世分 遺兒ら喜びの對面

きうら船板だり大自然に挑む協

指導者錬成所となった龍山總督官邸

古の名木も征く

大自然に挑む樵夫の闘魂

一月末に終った

創業以來の記錄

増産に、製鐵八幡への大車輪

才が役績に測ばれ全様の通船所

ゆくのだし場

用意はよいか

新設の特別鐮成所 四月一日一齊開所式

人洩れずいざ入

象に見た今は胸翼する父兄に対向「上京するもの もある ので内耳や「親レく取人機能質正典に合置もらこからは領下限品を、顕著音能下が、「耐光神もらしめねばなりません四千八百九十名の衝勢が縦に描き」これらの 透見の中には 張路斯々 せわれます。また朝春屋殿下には「乗ある地見とじて幾くも最后座下」ってお父さま、お兄さまの名屋を

輝しき、健兵半島、の第一

型 への歴史的な第一歩をかる出すの ・ 遊へて開所式を進行、こへに復兵 ・ ない、 若き希望に燃える半隣得年を

分および午後一時世分から日比

の一つ、修鰲戦のの徹底的資子はじめ地方官職、欧洲所なのであり、日子本府の政制として様けた三大施戦、十八日これを移り、日子本府の政制とは、大田の東京の衛門の東京の東京の東京の東京の東京の東京の東京の東京の

官吏が邢山祗督官邸に集ってどの全版からの第一線高感官

福四十三年一月、軍司令官人邸

200年で町く半路の商品制で備

五月廿六日開発で、また日本宗教

せん息神經痛や

風·高血壓

いなで治不

明 をよくせよ

から治療する

今津博士の新しい療法

・ 大戦神器衰弱、足量でし、よるひ ではなど いの に関する。 とるひ

阿铁八用車

ぜん息 でせる たん息切れ呼

軍を開始したところ全従業員の網 金くこくに集中され大東西政

> すみれ丸沈没 客を乗せ過ぎて

遭難者多數

續々ご開放

『照時生活の確立』『姫身春公の 東京電話」『必勝信念の品掛』

は救助船数量を現場へ急減処別した、急報に接した場

今津研究所へ選ば手具く信用ある

室毎が、心の道場

指導者錬成所に變る龍山官邸

周年記念日

己成了作所

日本的世界概を整得する修練江湖

電車の公園室町中尾、公家ならなどには、1920年中尾、公家の人の方や間の心配の人

一、面接期日 一、出羧豫定

京城職業紹介所

職した結果在の如く配問を行ふ 貴院、 傷病兵感

王盛アイ

スクリームの素

经中心工业**汽金基** 可谓(◆)10回0種

製態朝鮮冷凍

る若返っ イタルゲン

無代進品談談談 京中合町東天光堂

学無線は単校 洋裁研究所

經濟的も

関の道具になってゐるものは映遊 反日宣 反日軍機機関としていま一つ相省 を別べてある歌曲で、変那事 なつた、相信な喰はせもので

るな不自由、不能は現れぬこして

が潜水動から敷夹に亘り砲車を見るな不自由、不能は現れなこして

が潜水動から敷夹に亘り砲車を見

見ら的これでも脱事をやって 郷はれて肝を冷した、太平洋域で

るのだらうかと思はれるくらる

心酸量をかつてゐるとき、國民が、らぬ業である、そんなわけで東部

米

の宣傳網を發く

り被出も全く解説的である、新聞

労 かの人口一般二千萬人に対し恰良 類 かの人口一般二千萬人に対し恰良

学分つまり二人に一台の跳で普及

をかけて大きい、ラジオ解脱者の

「祖と議事教を兼かすため」 「「本の一世界に向って北の上」を経動に十八百七十八種、この後、祖と議事教を兼かすため」

(目職版を除外) が紐背タイムス 調査による公司が開

の徹底的に 透視を超るため も従 英語に発してある。これに通訊と 強りをやうてゐる今日では、これ 行脳は四千百萬部を超え、また日

さを成するが、それにつけて

ならぬ、ところで酸國アメリカは

東の路域家やラジオ解説者、或は、度げられてあるのは頃はるまでも、そと最も「東三18~2~~。 新聞記者達もまた色けてならず無、ない、然らはアメリカの間内虹解、を行高は解く勿れ一般部を動し突。 が関い者達もまた色けてならず無、ない、然らはアメリカの間内虹解、を行高は解く勿れ一般部を動し突。

短観的な聖人共と呼吸して有象無一來にも増して極烈な對内宣傳が繰 か何刊といった種類のものを加へ

或は 展げられてゐるのは頭はるまでも ると総計一萬三千種に及び、

次公の旗色は汚しくないし、図 わど、これが至って取納た頭の音 次今日この新聞、舞鶴は反復頼 またるアメリカ人の間にやんやと に今日この新聞、舞鶴は反復頼 うけたので、自然大概に反目意識 高級のため、汎める脳智慧を数 うけたので、自然大概に反目意識

戦場へ関り立てる証疑から出級

思でいデマル神様も顔負け

ってゐたのも、結局狙ひは同じと、法が採られてゐるだらうか?アメ

が頭のラジオに慣れてゐる日本人

獣を持つたのである。まじめなわ

華倚葉記號 温泉 **这一种多种的**

日本高

文化中學院生徒募集

羅 今村英生 問題 是

形文和

金属 爽かで が清掃く力







好い時期です か 一番

黄海道々議内

たる郷郷の州西は遠近京すく一好」生産新出級の樹立に悪趣した結果でる郷郷の州西は遠近京すく一好」生産新出級の樹立に悪趣した結果 ことが明らかとなったが、石はわ に負ふところ少くない。すなはち

開催、節約、離青、青児等と現



みんな揃 米英撃滅、戦意昂揚の大合唱つて歌ひませう



優勝盃献納

勝利の記録も赤襷 **泉商からも**

婦本五分會の赤誠

华尺

戦車他や機關銃

献金の波

戰時債券當簽番號表 (地)

中太子(* 四期、括弧內小蘭培等級設全領) 《大職省 * 日本勘案銀行發表》

神經科

公示催告

大いなる祭 [105] 中野 三芳 財實(作)



甲斐計理事 朝日性病

的解

。 即化文路鍾 音

虚無僧系圖境で incx inst worth two instantial for the a control of the control \$P\$ 秦 喜 楊 劇 洋 東 | 座 富 新 | 館 花 浪 | 場 劇 陸 大

A VELLETINE

思疾性女

青春座 公演 11年日 9 貞烈夫人 9 貞烈夫人 1278年 1871年 187





ア領地域

欧千一夜

日案内

東洋工科 美術工塾生徒 院 徒生

暴 暴

昭和中等 學 院

⊼ 易生 o集徒 果

省温 机田店先生推奨

漢方藥

岡京務所やさては決成生産力援充一が成力の飛躍的角頭の敵立とこれ

層限制の決敗化を目的として精か

既預定してゐた小學校及び中等學地域である、歐前ビルマ政府が公

一派してある。

來館=英容軍名は姻爆略機が十四

後り 【リスポン廿五日開盟】ロンドン

獨機英本土爆擊

戦級して廿五日暦累したが、本省一帰職へ區位することになった。

と 思はなかつた 附近の住民の仕行もおそらく彼らの 釋放を 快し

職領引下の

加人三名を射殺

豐縣に反英熱昂まる

心るものとして在目される。
「に於いて屋脳相並に井野隠相の出」はすである

をもつて構成されてある衆議院蔵

ルホースーマミプロスプバー・

年も宝大甕店協定を 擦弾することになったものである。今间の協定成立は来述の思考なる日ソ書間工作にもかえばらず目ソ中立解的が関めは昭和十一年以来第八回目のもので昨年末行はれ來った日ソ巡察解討論に関する交渉は印年末までに 聚離に至らなかったので今日 日ソ漁業暫定協定成立に関する情報局發表(廿六日午前十時)日ソ漁額條約締結に關する変渉は昨年も行れたる

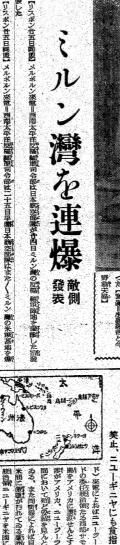
が、年77年で、安元成立するの至らそりしをもつて十二月以來現行旅遊儀約の効力を本年末まで、延長せじめる鷹屋取獲め締結方哲合中 **いりしところ 介向 勢綿に達し 三月二十五日クイビシエフ市において佐藤大臣とロソフスキー 帰勤人民委員代理との間に右蓋定取権めの**

情を把握

本日常院式を掘石せられ第八十 柏の本領を後期せられたことはま

戦したと二十五日被表した サッタゴ・シは大学「アスポン廿五日同思」ニューデリー体帯一成度施製団合物は廿四日

米、濠の西部サモア繼承



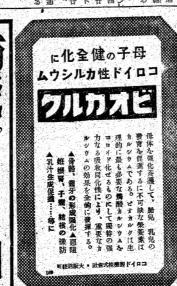
形がアメリカ、ニュージーラ

ード猛砲撃

自見題と英

首相招待午餐會







潜在發電力の開發

北鮮初視察の田中鮮銀總裁談

たが次のやうに語る たが次のやうに語る

特火點五百を撃碎 獨ドネツ掃蕩戦進む ハリコフ東方の森林地帯でもバ

店鏡眼堂學大り。護人眼 下 西方で激戦 甘五 日间 元 万で激戦 甘五 日间 元 四方で激戦 甘五 日间 で 選戦 マルジー 仮送によればガベ 皮 ス西方 1十キロのエル・ハンマ地 セスにおいて目下ロメル類と反隔域 起との間に滅域が原因されてある 3週間代表・「イスタン」 アンカラへ・ブール世四日イスタンブールに到着したドイツ漁網局及クロデカス限当体とドイツ漁網局接クロデカス限士は甘

を滅ける

東京電話】全國振風器

が推奨される 既張初 - = 00 0 = = 00

獨に新驅潜艇

に間厚花だの心中

0

》 農林省水產以聯盟創製

速かに抗菌線力を補操します 肝液と異り胃腸で除らか いので集々と連鎖服用ノ 腺病質・結接・肋膜炎

呼吸器病菌に對する抵 抗力をもつと强く! エーテーは無道粘膜や皮膚の抗菌力を エーナーは表現の様々な同じが、前後の あめるビタミンADの外、前後の複奏 を援和するB、質調体便の主力となる フェノ酸、造血薬へモーゲン等を網羅 し、且つ消化吸水質る良好なるため、

管庭に練る必勝魂 實施要項



麗葉 初の軍事技術普及錬成會

青少年團派

雄々しき巣立ち 人級遊接適用では廿六日一半軍人援職投商所修了式」 軍援授産所の卒業式

當日、適齢者には入所命令

譽れの見に贈る

各方面からお土産品

尿城府が四月一日から開所する堂

京畿道の割當額決る

の村野

男が! 庭の雰圍氣と愛情の中温い美しい和やかな家挺身する激しい情熱を 美丸。 発加学 鳩山。 高質性 ま定 雅邦 り夫 大男淳 中ではなる質問題







家健民

けふの市況、共同

那和十八年

明らとも

四時死去 致候即 **- 化學工業株式會社**

病胜

夜間診療 ・ 原の時

登泰 鐵樓

い名器を傷つけぬやう立派な例以